

# 建設総合統計と決算書との整合

---

国土交通省 総合政策局  
建設経済統計調査室  
平成30年3月

○以下の資料を基に建設総合統計との整合性について確認を行う。

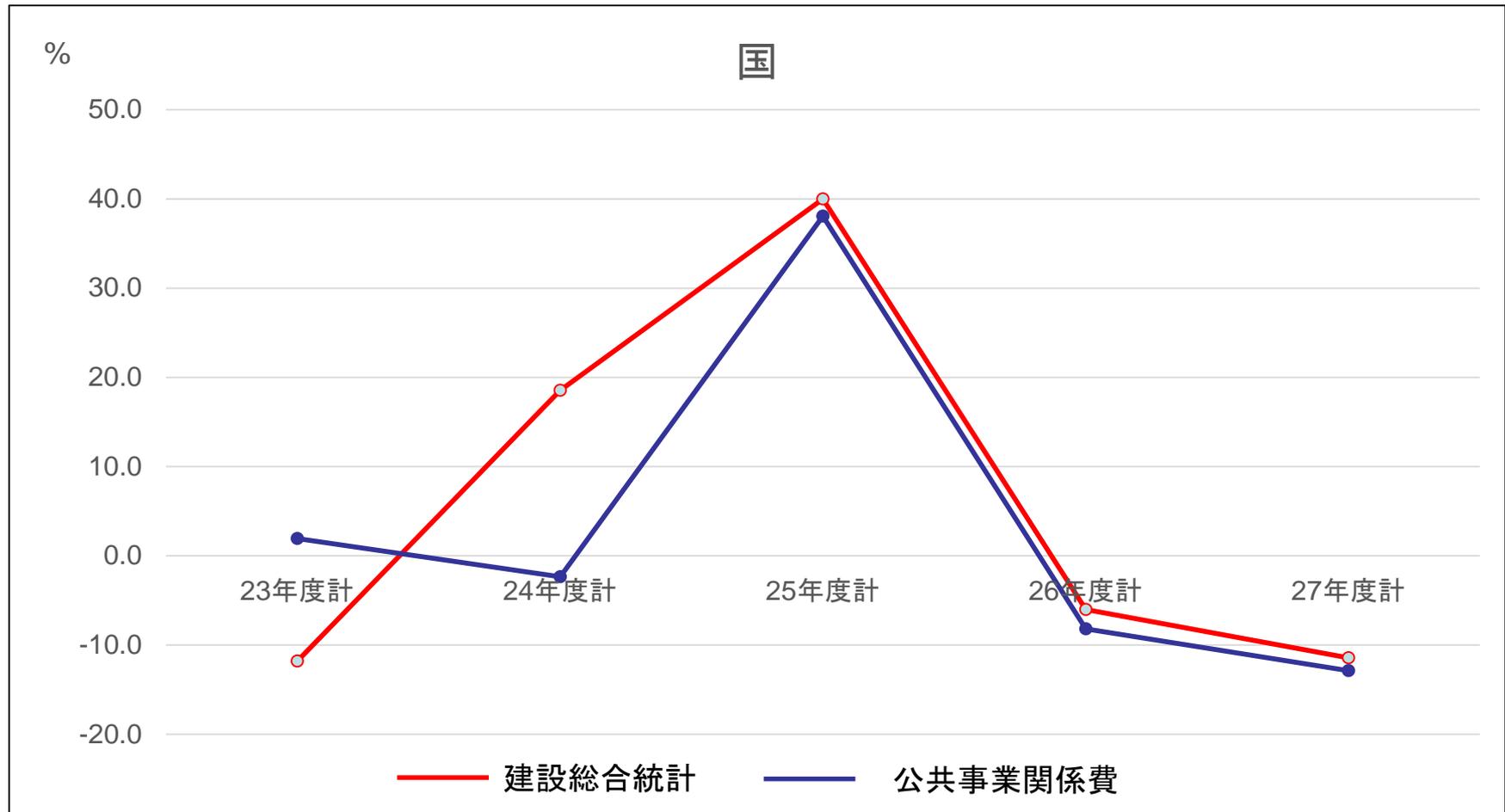
財務省決算書類(国)

地方財政白書(都道府県・市町村) 等

○建設総合統計は、受注者(施工者)側から出来高を推計したものであり、各関係機関の決算書は予算を基にしたものであるため、検証にあたりそれぞれの伸び率にて確認を行う。

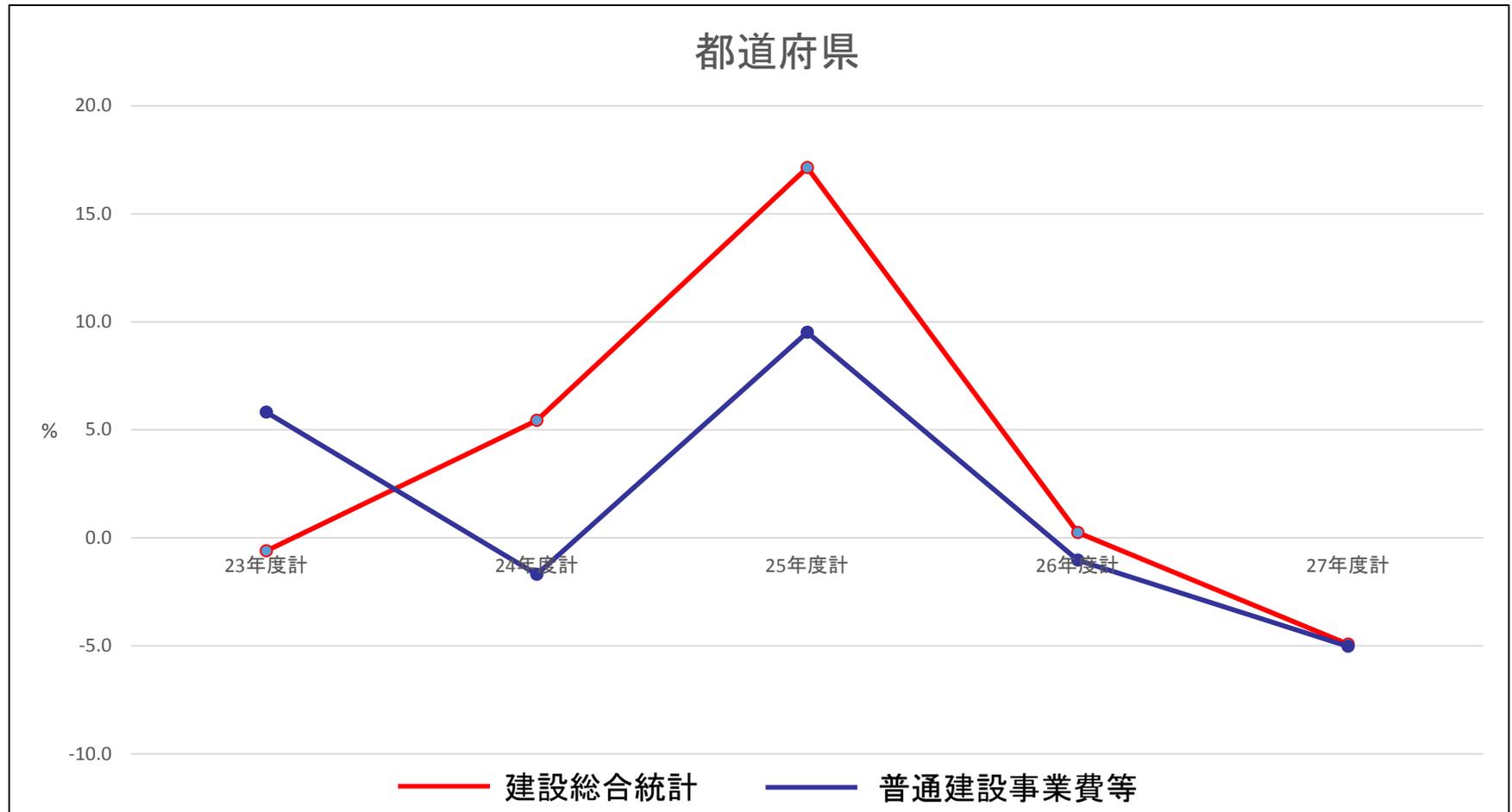
(留意点)

- 公表されている決算書等において建設工事の費用について明確に区分が出来ない。
- 決算書(予算ベース)と出来高(工事ベース)において内容が異なることがある。

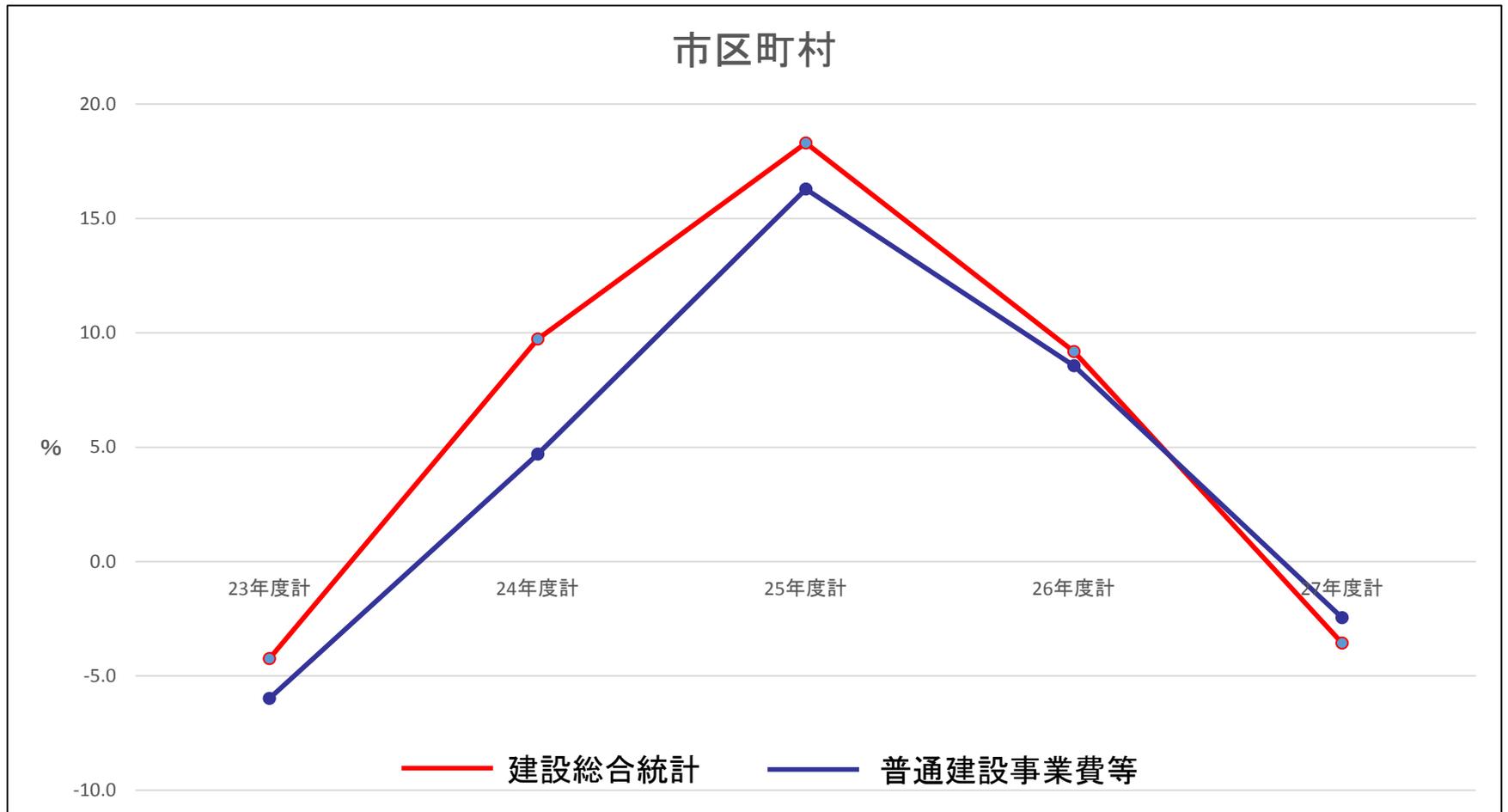


※建設総合統計は年度報の表5(国)を基に作成

公共事業関係費は年度決算の説明(公共事業関係費)(財務省)を基に作成



※建設総合統計は年度報の表5(都道府県)を基に作成  
普通建設事業費等は地方財政白書(総務省)表83、88及び91を基に作成



※建設総合統計は年度報の表5(市区町村)を基に作成  
普通建設事業費等は地方財政白書(総務省)表83、88及び91を基に作成

国、都道府県、市町村における決算との整合については、概ね整合していると思われる。

しかしながら、広域的な災害などが発生した場合には、事業規模が大きな機関（国等）においては乖離が見られる。

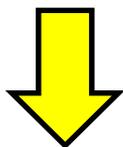
（補足）

- 受注時において出来高を展開しているため工事の中止や繰上げ竣工など即時性においては反映できない。
- 事業規模が小さい機関においては、広域的な災害などがあつた場合でも乖離することは少ないと思われる。
- 例えば、東日本大震災で、交通網の寸断、資材等の不足などが工事進捗に影響したものと考えられる。

平成29年度

.....

決算書との整合性の確認

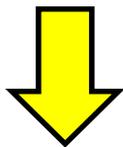


国、都道府県、市町村における決算との整合については、概ね整合していると思われる。しかしながら、広域的な災害などが発生した場合には、事業規模が大きな機関(国等)においては乖離が見られる。

平成30年度

.....

建設工事進捗率調査

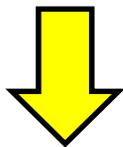


調査の実施、集計、進捗率の作成

平成31年度

.....

結果検証及び反映検証



建設工事進捗率調査結果検証及び建設総合統計への反映検証

平成32年度

.....

新しい進捗率の建設総合統計への適用